

# がんばろう！東北

つなげよう！  
まもろう！ あおりのかわとみち



## 青森河川国道ニュース



お問合せ先：国土交通省 青森河川国道事務所 〒030-0822 青森市中央三丁目20-38  
地域づくり相談室 TEL017-734-4529 FAX017-722-2577  
平成26年10月2日（木） 第227号

### 第2回奥入瀬渓流利活用検討委員会を開催



▲委員会の様子

平成26年9月22日（月）、青森市内のラ・プラス青森において、「第2回奥入瀬渓流利活用検討委員会」を開催しました。

「奥入瀬渓流利活用検討委員会」は、国民共有の財産である奥入瀬渓流のすばらしさを知っていただくための仕組みづくりや、自然保護と利活用を両立させる交通システムを検討することを目的とし、平成25年10月17日に設立したもので、各方面の有識者・専門家により構成されています。

2回目となる今回の委員会では、地域のめざす姿や、今年度の取り組み等について意見交換を行いました。

地域のめざす姿として、平成26年4月20日に環境省のビジターセンターがオープンしたことや、十和田市による旧十和田湖遊覧船ターミナルを活用した観光拠点施設の整備予定など、十和田湖・奥入瀬渓流における観光再生に向けた取り組みについて報告がありました。また、「奥入瀬（青撫山）バイパス」事業の進捗状況については、これまで関係省庁協議、調査・設計を進め、今年度はトンネル湧水・処理水を流す放流管整備について、発注予定であることが報告されました。ことが報告されました。

今年度の取り組みについて、交通施策では、今年7月、国土交通省道路局の公募型社会実験に採択されたことを受け、今年度の奥入瀬渓流における秋の2日間のマイカー規制時に、交通利用状況の実態調査や、道路利用者の規制に関する意識調査を国と県が一体となって実施し、規制の効果を検証していくことが報告されました。

また、知っていただくための仕組みづくりについては、現在実施中の観光動向調査の中間報告として、観光シーズンは県外客が多いこと、県外客は高齢者が占める割合が高いことなどの報告があり、引き続き調査を進めていくこととしました。

委員からは、「奥入瀬の魅力が十分発信されていない」、「今後の人口減少を見据えた検討が必要」、「いろいろな人の条件に合わせた交通モードの提供が必要」などといった意見がありました。今回の委員会でも出された意見は、今年度実施する交通・観光実態及びニーズ調査に反映させ、結果をとりまとめる予定です。